

テーマ

歴史・人・自然・もの・・・未来につなげる ESD**ふるさとに夢と誇りを持つ**

目標

故郷の良さを発見！ 故郷の良さを発信！ 故郷の文化をつないでいこう！**今年度の取組紹介**

「アルミ缶回収活動」に取り組み今年で20年目になります。当時の中学校生徒会の呼びかけで始まり、地域福祉協議会、ボランティア愛歩21、地域住民、学校が一つになり継続して実施しています。今年は、地域の特別養護老人ホームや月ヶ瀬地区社会福祉協議会に車椅子を6台寄贈させていただきました。これで今までに寄贈した福祉機器は117台になりました。

また、地域で行われる体育祭や文化祭、駅伝大会、マラソン大会などを通してスポーツや文化に触れたり、福祉センターの「いきいき講座」への出演や友愛訪問、地域清掃などで高齢者の方や地域の方々とも交流することができました。

さらに、小中合同避難訓練、小中合同PTA環境整備作業、こ小中梅採りなど、こども園・小学校・中学校と連携して多くの取組を実施しました。



アルミ缶回収活動



月ヶ瀬マラソン



こ小中梅採り

今年度のまとめ

地域で取り組んだアルミ缶回収活動が、全国アルミ缶協会から感謝状いただきました。このことは、今後も継続してこの取組を続けていくための力を与えてくれました。また、ブランド産品紅花染・梅干しなどのキャリア教育の取組で文科省より賞をいただきました。

地域ぐるみの体育祭や文化祭、駅伝大会、マラソン大会への参加により、スポーツや地域の文化に触れ、地域がつながり、「地域の子どもを地域で育てる」体制ができました。

さらに、今年度より総勢20名以上のボランティアで月ヶ瀬クリーン部隊を立ち上げ、教育環境の整備に協力しています。ふるさとに誇りを持ち、郷土の良さを伝え、地域の伝統文化を継承することも育成し、地域の取組を発信していきたいと思えます。

来年度に向けて

今後は、若い支援者を広げ、若者が定住できる環境、仕事、活性化の取組を考えていく必要があります。「月ヶ瀬未来」など他団体との交流を大切にして、話し合いを進め、若者が主体的に考え、行動、発信していける環境づくりをしていきたいです。

テーマ

ふるさとに夢と誇りを持とう

目標

ふるさとの支援を受けながら、郷土愛を育て、ふるさとを守り、
未来につないでいく生徒の育成**今年度の取組紹介**

ふるさとを知る取組として、毎年「ふるさと Walk」を実施していますが、今年は桃香野地区と嵩月瀬地区をボランティアの方に案内していただき、それぞれの地区を巡りました。また、職場体験学習、梅干しづくり、地域花いっぱい運動、闘茶会、紅花染体験、奈良晒体験、地域清掃、梅林清掃、交流の集いへの参加など多くの活動を通じてふるさと学習に取り組みました。

さらに今年は、「月ヶ瀬観光戦略課」を立ち上げ、近鉄奈良駅前でお茶をふるまい自作のチラシを配ってPR活動をしました。

また、地域で行われる体育祭や文化祭、駅伝大会、梅溪マラソン大会にも参加しました。

ふるさと Walk で
桃香野地区を巡る交流の集いで学区ブラン
ド製品の販売近鉄奈良駅前で月ヶ瀬観光
戦略課がPR活動**今年度のまとめ**

ふるさと学習を通して、故郷を発見、故郷の良さを発信、故郷の文化をつなげたと考えています。「アルミ缶回収活動」は、今年で20年目になりますが、この活動に対して、アルミ缶リサイクル協会より感謝状をいただき、ますますこの活動の意義や大切さを感じました。2年生のキャリア教育の発表では、交流の集いで、いろいろな方々に発表できる機会を得ました。また、生徒たちが学区ブランド製品としてつくった梅干しや紅花染めのコースター、バンダナ、絵本を販売しました。

来年度に向けて

少子高齢化の進むべき地であるが、長年地域の子どもたちを地域で支え、支援する体制が整っています。こ小中の子どもたちを地域ぐるみで育てる良い環境を今後も継続して構築していきたいと考えます。アルミ缶回収活動も継続して取り組んでいきたいと思ひます。また、若い世代の取り込みも今後益々必要になっています。

テーマ

ふるさと大好き、月ヶ瀬っ子！

目標

月ヶ瀬の良さを体感するために、特産品・この地域にしかない物作りの体験学習や地域に伝わる伝統芸能継承者の方から直に教えていただくことを通して、ふるさと月ヶ瀬をもっと好きになり、将来への夢に繋げる。

今年度の取組紹介

地域の皆さんの協力と支援を受け「豊かな体験 伝える思い 受け継ぐ心」を育て、「地域に支えられ 地域に生き 将来の夢に繋げる」いろいろな活動を行っています。

月ヶ瀬の特産と言えば「梅」「茶」です。まず、梅に関わる活動として、保勝会で管理されている梅林の青梅を利用して、「梅のしそ漬け」体験、そして、「烏梅づくり」これは、日本で唯一継承されている中西さんの指導で、熟した梅にすずをまぶし燻製にする体験をしています。その烏梅を使って紅花染を体験しています。次に、茶に関わる活動では「手揉み茶体験」を行っています。今は機械化が進み普段目にできない体験です。「闘茶会」では、分かりやすい種類のお茶を使い茶の種類を当てています。また、「月ヶ瀬の歴史」についても、いつ頃から栽培が始まり、普段の茶に関わる作業、生産量の推移など、生産者から直接お話を聞いています。



次の活動は、伝統文化・芸能の継承活動です。毎年5年生は「尾山万歳」6年生は「狂言」を各保存会の方々の指導を受け学習発表会で発表しています。子どもたちは、5年・6年生になって発表するのを楽しみにしています。「万歳」も「狂言」も身振り、手振り、発声の仕方など指導を受け、今まで継承されてきた郷土の伝統を受け継いでいこうという思いで、熱心に教わり演じます。

今年度のまとめ

地域から学んだことを地域に発信することで、地域を元気にしていこうと取り組んできました。取組内容による学びの広がりや深まりと地域の方との温かい交流が、コミュニケーション能力の向上につながっています。また、得難い体験と素晴らしい人・ものに触れて生まれ育った地域への誇りと愛着を育んでいます。

来年度に向けて

本校区は地域ぐるみで子どもを育む機運に富み、学校教育に大変協力的です。こうした地域の方々に生まれ、見守られながら自尊感情を高めるために「地域の先輩から学ぶ」取り組みを継続していきたいと考えている。元気な学校が元気な地域作りの要になれるよう、この「学び」を大勢の前で発表したり、発信したりすることで自信をもち、自分の思いや考えを伝える力をつけさせたいです。